新刊『損切り』（著・川村徹彦）の発売に先行して、その内容をFacebookで連載開始。(5/21～)

株式会社パブラボ(東京都神田)は、ＦＸシュミレーション・サクセス・ストーリー『損切り』(著者:川村徹彦)を６月に刊行するに際して、先行的にその内容を、公式Facebookページで連載することになった。

企業が販促活動の一環として、twitterやFacebookを活用する中、新たな活用方法として、株式会社パブラボでは、発売前のコンテンツ（本）を、先行して公式Facebookページで連載することに決定。

その第一弾として、5月21日（月）
から連載を開始するのは、6月中旬に発売を予定しているＦＸ関連書籍『損切り』（著・川村徹彦）。
本書は、同ジャンルでも数少ない小説形式の内容となっており、主人公の平凡な主婦が、あるきっかけでＦＸをはじめ、紆余曲折しながらプロのトレーダーに成長していくまでの姿を描く。

＜Facebookにて連載開始＞

5月21日(月) 正午（12：00）より、パブラボの公式Facebookページで連載の投稿がスタート。

ＵＲＬ：https://www.facebook.com/publaboBooks

＜『損切り』あらすじ＞

「ただいま」

いつものように、主婦仲間とランチをして家に帰ってきた杏子は、
この時間、普段なら会社にいるはずの夫・功が
帰ってきていることに驚く。
がっくりとうなだれる功のその訳は、
ほどなくして杏子の目にも飛び込むことになる。

『解雇通知書』ー

夫の突然の失業をきっかけに、
専業主婦から一転して働き始めなくてはならなくなった杏子。
貿易会社の派遣事務をしながら、
ひょんなことから個人でできる外国為替取引、
通称「ＦＸ」の存在を知ることになる。

「これは、ちょっと勉強すれば稼げるようになるわ」

しかし、相場の世界は、杏子のイメージしたような

甘い世界であるはずもなく、瞬く間にその洗礼を受けることになる。

夫の失業に加えて、ＦＸでの損失ー。
しかも、大の投資嫌いの夫には、
とても自分がＦＸをやっているなんて言えないー。

そんな八方ふさがりになってしまった杏子の前に、同じくＦＸを始めたばかりだという男・野原が現れる。
野原との出会いは、杏子にとって
単なる「ＦＸ仲間」ができたこと以上に、大きな転機となる。
杏子に好意を持っていることを隠そうとしない野原に、
杏子は少しずつ惹かれていくー。

果たして杏子は、
ＦＸトレーダーとして、そしてひとりの女として、
自立していくことができるのか？

＜著者紹介＞

川村 徹彦（かわむら てつひこ）氏

1958年生まれ。2007年にWin-invest Japan株式会社を杉田勝とともに創業、代表取締役社長就任。創立後、FXセミナーの受講生は約1万名に上り、成功者を多数輩出。

＜書籍に関するお問い合わせ先＞
株式会社パブラボ
担当：黒澤/菊池
URL：http://www.publabo.co.jp/
所在地：〒101-0043 東京都千代田区神田富山町８番地 アツミビル
電話： 03-5298-2280 ＦＡＸ： 03-5298-2285
email： info@publabo.co.jp

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com